

[条例施行規則64条関係（500 t 以上1000 t 未満排出事業者用）]

（様式第33号）（第64条関係）

（第 1 面）

産業廃棄物処理計画書	
令和6 年 6 月 26 日	
(宛先) 長野市長 荻原 健司 様	
提出者	
住 所 長野県長野市西和田二丁目29番1号	
氏 名 東日本旅客鉄道株式会社 首都圏本部	
長野総合車両センター所長 宮下 敏雄	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 026-243-2641	
産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画について、長野市廃棄物の適正な処理の確保に関する 条例第79条第1項の規定により提出します。	
事業場の名称	東日本旅客鉄道株式会社 首都圏本部 長野総合車両センター
事業場の所在地	長野県長野市西和田二丁目29番1号
計画期間	2024年4月1日～2025年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	鉄道業
② 事業の規模	162,000千円
③ 従業員数	124人
④ 産業廃棄物の一連の処理工程	汚泥 : 車両修繕・廃車解体・設備工事 ⇒ 委託業者 廃油 : 車両修繕・設備工事 ⇒ 委託業者 金属くず : 廃車解体 ⇒ 委託業者 鉋さい : 金属製品製造 ⇒ 委託業者 ばいじん : 金属製品製造 ⇒ 委託業者 木くず : 車両修繕（破損パレット）・廃車解体 ⇒ 委託業者 廃プラスチック : 車両修繕・廃車解体 ⇒ 委託業者 ガラス・コンクリート・陶磁器くず : 車両修繕・廃車解体 ⇒ 委託業者

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃油	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール等)	木くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	排出量	172.39t	37.21t	4.09t	17.43t	3.38t	45.86t
	産業廃棄物の種類	鋳さい	ばいじん	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	水銀使用製品廃棄物	廃電池類
	排出量	18.13t	127.78t	0.78t	90.80t	74.71t	0.06t
	産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油	PCB				
	排出量	3.71t	2.86t				
(これまでに実施した取組) 産業廃棄物の排出量の削減を進めると共に、分別を強化することで有価物を増加させ、排出量を減少させた。							
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃油	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール等)	木くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	排出量	194.24t	45.58t	6.54t	17.00t	3.00t	73.05t
	産業廃棄物の種類	鋳さい	ばいじん	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	水銀使用製品廃棄物	廃電池類
	排出量	18.00t	127.00t	1.25t	126.46t	102.36t	0.10t
	産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油	PCB				
	排出量	3.00t					
(今後実施する予定の取組) 排出量は、鉄道車両の検査両数、設備に関する工事、廃車解体両数等により左右されるが、産業廃棄物の分別を進めて、より多く有価物になるように取り組んでいく。							

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 事業場内の産業廃棄物保管場所を種類ごとに明記し、産業廃棄物を分別して保管している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別をさらに進めて、排出量を少なくする。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃油	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	木くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	鋳さい	ばいじん	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	水銀使用製品廃棄物	廃電池類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量						
	(これまでに実施した取組)						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃油	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	木くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	鋳さい	ばいじん	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	水銀使用製品廃棄物	廃電池類
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
	(今後実施する予定の取組)						

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃油	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	木くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	鋳さい	ばいじん	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	水銀使用製品廃棄物	廃電池類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃油	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	木くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	鋳さい	ばいじん	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	水銀使用製品廃棄物	廃電池類
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量						
(今後実施する予定の取組)							

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃油	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	木くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	鉱さい	ばいじん	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	水銀使用製品廃棄物	廃電池類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量						
(これまでに実施した取組)							
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃油	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	木くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	鉱さい	ばいじん	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	水銀使用製品廃棄物	廃電池類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量						
(今後実施する予定の取組)							

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃油	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡スチロール等)	木くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード)
	全処理委託量	172.39t	37.21t	4.09t	17.43t	3.38t	45.86t
	優良認定処理業者への処理委託量	138.79t	28.92t	4.09t		3.38t	45.86t
	再生利用業者への処理委託量	33.60t	8.29t		17.43t		
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
	産業廃棄物の種類	鋳さい	ばいじん	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	水銀使用製品廃棄物	廃電池類
	全処理委託量	18.13t	127.78t	0.78t	90.80t	74.71t	0.06t
	優良認定処理業者への処理委託量	13.84t	127.78t	0.78t	90.80t	74.71t	0.06t
	再生利用業者への処理委託量	4.29t					
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
	産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油	PCB				
	全処理委託量	3.71t	2.86t				
	優良認定処理業者への処理委託量	3.71t	2.86t				
	再生利用業者への処理委託量						
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
	(これまで実施した取組) 優良認定処理業者への産業廃棄物処理委託を推進。						

②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃油	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡スチロール等)	木くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード)
	全処理委託量	194.24t	45.58t	6.54t	17.00t	3.00t	73.05t
	優良認定処理業者への処理委託量	160.24t	29.00t	6.54t		3.00t	73.05t
	再生利用業者への処理委託量	34.00t	16.58t		17.00t		
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
	産業廃棄物の種類	鋳さい	ばいじん	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	水銀使用製品廃棄物	廃電池類
	全処理委託量	18.00t	127.00t	1.25t	126.46t	102.36t	0.10t
	優良認定処理業者への処理委託量	14.00t	127.00t	1.25t	126.46t	102.36t	0.10t
	再生利用業者への処理委託量	4.00t					
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
	産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油	PCB				
	全処理委託量	3.00t					
	優良認定処理業者への処理委託量	3.00t					
	再生利用業者への処理委託量						
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
	(今後実施する予定の取組) 今後も、優良認定処理業者への産業廃棄物処理委託を継続する。						
※事務処理欄							

(第6面)

備 考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が500トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が12以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。
また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙 1

産業廃棄物処理計画書（産業廃棄物の実績及び計画の量）

処 理 事 項			産 業 廃 棄 物 の 種 類															
			汚泥(上・下水、建設、その他)	廃油	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール)	木くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード)	鋳さい	ばいじん	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	水銀使用製品廃棄物	廃電池類	燃えやすい廃油	PCB		合 計
排出抑制に関する事項	前年度排出量(実績)		172.39t	37.21t	4.09t	17.43t	3.38t	45.86t	18.13t	127.78t	0.78t	90.80t	74.71t	0.06t	3.71t	2.86t		599.19t
	本年度排出量(計画)		194.24t	45.58t	6.54t	17.00t	3.00t	73.05t	18.00t	127.00t	1.25t	126.46t	102.36t	0.10t	3.00t			717.58t
自ら行う(行った)再生利用に関する事項	前年度実績																	
	本年度計画(目標)																	
自ら行う(行った)中間処理に関する事項	自ら行う(行った)熱回収の量	前年度実績																
		本年度計画(目標)																
	自ら中間処理により減量する(した)量	前年度実績																
		本年度計画(目標)																
自ら行う(行った)埋立処分又は海洋投入処分に関する事項	前年度実績																	
	本年度計画(目標)																	
処理の委託に関する事項	全処理委託量	前年度実績	172.39t	37.21t	4.09t	17.43t	3.38t	45.86t	18.13t	127.78t	0.78t	90.80t	74.71t	0.06t	3.71t	2.86t		599.19t
		本年度計画(目標)	194.24t	45.58t	6.54t	17.00t	3.00t	73.05t	18.00t	127.00t	1.25t	126.46t	102.36t	0.10t	3.00t			717.58t
	優良認定処理業者への処理委託量	前年度実績	138.79t	28.92t	4.09t		3.38t	45.86t	13.84t	127.78t	0.78t	90.80t	74.71t	0.06t	3.71t	2.86t		535.58t
		本年度計画(目標)	160.24t	29.00t	6.54t		3.00t	73.05t	14.00t	127.00t	1.25t	126.46t	102.36t	0.10t	3.00t			646.00t
	再生利用業者への処理委託量	前年度実績	33.60t	8.29t		17.43t			4.29t									63.61t
		本年度計画(目標)	34.00t	16.58t		17.00t			4.00t									71.58t
	認定熱回収業者への処理委託量	前年度実績																
		本年度計画(目標)																
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	前年度実績																
		本年度計画(目標)																

【記載方法】

- ・ 各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の上段に前年度の実績（現状）を、下段に本年度の目標（計画）の産業廃棄物の量を記載してください。
- ・ 「自ら行う再生利用に関する事項」の欄は、自ら直接再生利用した量と中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- ・ 「自ら行う埋立処分又は海洋投入処分に関する事項」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量を記載してください。
- ・ 「処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量及びそれぞれの内訳を記載してください。